



HAGIWARA TIMES

十勝港航路・泊地浚渫工事／北海道横断自動車道 陸別町 日宗北改良工事

Vol.99
2025.

8



● 航路(-14m)、(-13m) グラブ浚渫状況

十勝港航路・泊地浚渫工事



● 浚渫土砂 土運船積み込み状況



● 浚渫土砂 海上運搬状況(土運船開閉前)



● 浚渫土砂 海上投入状況(土運船開閉後)



● 泊地(-2m) バックホウ浚渫状況



● 泊地(-2m) 浚渫土砂揚土状況

● 施工場所：広尾郡広尾町 十勝港

● 発注者：北海道開発局 釧路開発建設部

● 施工業者：萩原建設工業株式会社

● 施工期間：令和7年2月21日～令和7年9月29日

● 進捗率：42.2% (6月末現在)

土木

本工事は、十勝港の航路および泊地において、大型貨物船や漁船の安全かつ円滑な入出港を維持するため、所定の水深を確保する浚渫工事です。
海上作業には期間の制約があり、泊地は6月中、航路は6月～8月の期間内での施工となります。十勝港は船舶の入出港が多く、風浪・うねり・濃霧など気象・海象条件も厳しい地域であるため、安全かつ確実な作業の実施が求められます。
作業中は、周辺船舶の動静をリアルタイムで把握する「船舶動静共有航行支援システム」を活用し、入出港船舶の情報を迅速に収集・共有するとともに、無線連絡体制を強化し、作業船舶との綿密な調整を行っています。さらに、ICT施工(3次元データ)を導入し、浚渫状況の可視化や施工履歴データの活用によって、数量・進捗の把握、出来形の向上、工程管理を行い、円滑な施工を進めています。
引き続き、安全第一で無事故の工事完成を目指してまいります。
現場代理人：中川 貴大／監理技術者：武者 伸一／担当技術者：佐々木 修、中尾 天音



● 特殊ふとんかご工区 6月25日撮影

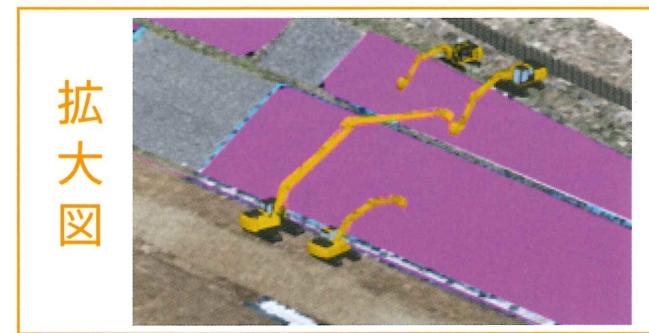
北海道横断自動車道 陸別町 日宗北改良工事



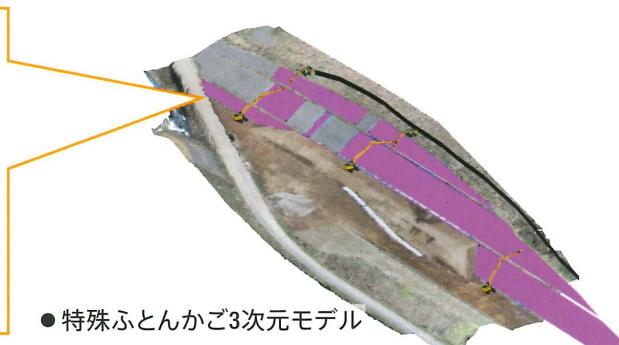
● 特殊ふとんかご掘削状況



● 工事用道路造成状況



拡大図



● 特殊ふとんかご3次元モデル

● 施工場所：足寄郡陸別町

● 発注者：北海道開発局 帯広開発建設部

● 施工業者：萩原建設工業株式会社

● 施工期間：令和7年4月1日～令和8年2月10日

● 進捗率：16.2% (6月末現在)



本工事は、北海道横断自動車道の陸別町日宗地区において、工事延長L=1,500mの区間で、特殊ふとんかごの設置および道路改良を主な内容とする工事です。
特殊ふとんかごの掘削・設置作業は、高低差のある法面、かつ一部が崩壊している箇所での施工となるため、施工前に現地盤データと設計面を重ねた3次元モデルを作成し、重機の選定および施工方法の検討を行いました。その結果を基に、長大法面施工において適切な施工方法を選定しています。
また、丁張の設置が困難な状況であることから、ICTを活用しながら現在作業を進めております。

現場代理人：三谷 大輝／監理技術者：江本 啓二／担当技術者：千葉 百華

土木

【今年もやってきた!】 ザリガニ防除大作戦!自然を守る16回目の挑戦



令和7年6月6日、帯広市・まなび野公園内を流れる「機関庫の川」にて、特定外来生物であるウチダザリガニの防除活動を行いました。この活動は、弊社の地域貢献の一環として継続的に実施しており、今年で16回目を迎えました。

当日は社員25名と、毎年ご協力いただいている元帯広百年記念館学芸員・池田氏の計26名が参加。例年は秋刀魚を餌に使用していましたが、今年は初めて魚肉ソーセージやむきたら、よっちゃんイカを試用。しかし、結果はかごの仕掛けには0匹……。ですが、近くに潜んでいた個体をたも網で合計38匹を捕獲! 匂いには集まっていたようです。

昨年は9月に実施しましたが、今年は繁殖期にあたる6月へ前倒し。捕獲数は昨年より減少したものの、38匹中31匹がメスで、卵を抱えた個体も確認できたため、増殖防止としては大成功! 捕獲後は全長を計測し、塩茹でや素揚げで試食。社員同士の交流の場にもなり、有意義な時間を過ごしました。

活動中にはきれいな川にしか生息しない「ハナカジキ」も確認され、川の美しさと自然の豊かさを再認識する機会となりました。

今後も十勝の自然を守り、未来へつないでいく取り組みを続けてまいります。

音楽で地域のみなさまへの感謝の気持ちをお届け ～第37回 謝恩コンサートを開催しました～

7月5日、幕別町百年記念ホールにて「第37回 謝恩コンサート」を開催しました。日頃お世話になっている地域の皆さまへの感謝を込め、毎年無料でご招待しているこのコンサートは、今年は700名を超えるお客さまにご来場いただきました。

皆さまへチケットをお渡しする際には「毎年楽しみにしているよ」「家族と行きます!」といった温かな声をかけてくださる方も多く、私たちにとっても地域の皆さんのお声が直接聞ける貴重な機会となっています。

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロによる演奏で、モーツァルトやバッハ、ブラームスなど、クラシックの名曲が美しく奏でられ、ホールにはやさしくも力強い音色が響き渡りました。なかでもブラームスの五重奏曲では、音の重なりと緩急に思わず息を呑む瞬間もあり、会場全体が深く引き込まれているようでした。終演後には、チケットに振られた番号を使った抽選会を実施。小森谷さんのCDが当選された方には、ちょっとした嬉しいサプライズをお届けできました。「心が洗われた...」という声や笑顔でホールを後にする姿に、私たちもあたたかい気持ちを頂きました。

これからも、音楽を通して“人と人をつなぐ場”をつくりながら、地域の皆さまと共に歩んでいける企業でありたいと思います。



今月の表紙

撮影: 営業部 仁藤 正憲

今月の表紙は、輝一夜(かがやきひとよ)新得花火大会の様子です。西十勝最大規模を誇り、「日本で一番近くで見られる花火大会」として親しまれる本大会は、間近で打ち上がる迫力の花火と、豊富な露店が魅力です。今年は8月23日(土)に開催予定。夏の終わりを彩る、心に残る輝く一夜となることでしょう。



2025年8月号 / HAGIWARA TIMES vol.99

萩原建設工業株式会社

バックナンバーは当社HPよりご覧ください。

〒080-0807
北海道帯広市東7条南8丁目2

<https://www.hagiwara-inc.co.jp/>

TEL.0155-24-3030



DX認定